

固 定 資 産 税 住 宅 耐 震 改 修 減 額 申 告 書

年 月 日

富谷市長 若 生 裕 俊 あて

(申 告 者) 住所又は所在地 〒
(納税義務者)

氏 名 又 は 名 称 フリガナ

個人番号及び
法 人 番 号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

電 話 ()

地方税法附則第 15 条の 9 第 1 項又は第 15 条の 9 の 2 第 1 項の規定による減額措置の適用を受けたいので、市税条例附則第 10 条の 3 第 6 項又は第 9 項の規定に基づき申告します。

家屋の内訳	所 在	富谷市			
	家 屋 番 号		種 類		
	構 造		床 面 積	㎡	
	建 築 年 月 日	・ ・	登 記 年 月 日	・ ・	
	耐震改修工事 完了年月日	・ ・	耐震改修工事 に要した費用	円	
三 か 月 以 内 に 提 出 で き な か っ た 理 由	※工事完了日から 3 か月以内に提出できなかった場合のみ記入してください。				
添 付 書 類	☐ 地方税法施行令附則第 12 条第 17 項に規定する基準を満たすことを証する書類 (市が発行する住宅耐震改修証明書または建築士、指定確認検査機関、登録住宅性能 評価機関、住宅瑕疵担保責任保険法人が発行する増改築等工事証明書) ☐ 耐震改修に要した費用を証する書類(領収書・工事明細書等) ☐ (長期優良住宅の認定を受けて改修した場合)長期優良住宅認定通知書の写し				

記入方法

1. 申告者（納税義務者）の欄には、住宅耐震改修に伴う減額措置の適用を受ける家屋の納税義務者の住所、氏名又は名称及び電話番号を記入してください。なお、申請者が法人の場合は、氏名又は名称の欄に代表者の職氏名も記入してください。
2. 家屋の内訳欄には、所在・家屋番号・種類・構造・床面積・建築年月日・登記年月日・耐震改修工事完了年月日・耐震改修工事に要した費用をそれぞれ記入してください。

※記入例

家屋の内訳	所 在	富谷市〇〇一丁目◇番□□		
	家 屋 番 号	◇番□□	種 類	居 宅
	構 造	木 造	床 面 積	130.25㎡
	建 築 年 月 日	S55・10・25	登 記 年 月 日	S55・10・25
	耐震改修工事 完了年月日	H18・3・15	耐震改修工事 に要した費用	32万円

3. 3ヶ月以内に提出できなかった理由の欄には、工事完了日から3ヶ月以内に提出できなかった場合のみ、その理由を記入してください。
4. 添付書類の欄には、申告書に必要な書類が添付されているかを確認し、添付されている場合「□」にチェックをしてください。